

# 国際アロマセラピスト連盟 30周年記念カンファレンス 2015年6月20日21日

アドレス: Hulic Hall 2F 1-22-16 Asakusabashi Taito-ku, Tokyo 111-0053

(東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリックホール2F)

時間: 09:30 - 18:00

お申込方法: 別紙の申込用紙を郵送またはファックスを IFA までお送りください。

カンファレンスに関する問合せ先: (IFA 本部 日本担当): [japan@ifaroma.org](mailto:japan@ifaroma.org)

会員 非会員	チケット の種類	一人当たりのチケット料金 (ポンド) (日本円は概算 1ポンド=185円)		必要枚数	合計金額
		2015年1月15 日迄の購入	2015年1月15 日以降の購入		
IFA 会員	2日	£240.00 (44,400 円)	£280.00 (51,800 円)		
学生会員	2日	£175.00 (32,375 円)	£175.00 (32,375 円)		
団体予約 (12名以上)	2日	£230.00 (42,550 円)	団体予約割引受付は 2015年2月1日 申し込み分迄		



## “21世紀の開拓者に”

“情熱、刺激、理想、そして開拓の時だった。” これは、IFAの創立メンバーのトリーシア・デイビスが当時を振り返ったときの言葉です。また、彼女は私たちに次のことを思い出させてくれます。“IFAが発足する以前は、アロマセラピスト達は、属する組織も彼らを代表する組織もなかった。” 今回の素晴らしいランドマークとなるー30周年記念ーは、臨床アロマセラピーにおける草分け的な役割であり、強さと焦点そして価値のある豊富な経験に基づいたIFAが開拓する新たな1ページを刻みます。この30周年記念を祝うにあたり、世界的に名声のあるスピーカーの方々をお招きし、統合的な健康管理についての様々な興味深いお話をして下さる予定です。

IFAがどのようにアロマセラピーを開拓してきたかご興味のある方はこちらを[クリック](#)ください。またIFAがどのように創立されたかご興味のある方はこちらを[クリック](#)下さい

## 講演者

### Salvatore Battaglia サルバトーレ バタリア

サルヴァトーレ・バタリアは人生のほぼ全てをナチュラルセラピーに情熱を注いできました。彼はハーバルメディスン、ナチュラルセラピー、鍼灸そしてアロマセラピーの資格を持っています。彼のアロマセラピーへの献身は、オーストラリアでの専門機関や政府の委員会での、アロマセラピーの専門性の教育水準を維持し高めるための多くの地位を確固たるものにしていきます。

サルヴァトーレは、疼痛マネジメントや集中治療、うつ、そして認知症や老人看護に対するアロマセラピーのクリニカルトリアルを確立するために、病院や介護におけるアドバイザーも務めています。

1994 年に出版された『The Complete Guide to Aromatherapy』の著者でもあり、現在に至るまでに 10 万部を売り上げています。1991 年、品質の保証されたオーガニックアロマセラピー製品、ナチュラルスキンケアとエッセンシャルオイルなどの健康関連メーカー『Perfect Potion』が設立されました。Perfect Potion は政府と業界当局より、オーストラリアのアロマセラピー製品の基準を確立するとみなされています。

彼はナチュラルセラピーやアロマセラピーなど世界中のことへの情熱を、妻であるキャロリン・スタピンと犬のチャーリーと共有しています。

多様なホリスティック製品を作ることによって、またアロマセラピーのような自然の意味を通して人々の健康な状態を保つことを推進する革新的な教育プログラムを作ることによって、Perfect Potion は彼の長年の夢である創造性を表現することを実現可能にしています。

### Pierre Franchomme ピエール フランコム

アロマトロジスト、薬理学者

植物及び芳香抽出の研究指導者

精油のスペシャリストとして 40 年以上携わる

米国研究所の専門委員

インターナショナル スクール オブ アロマセラピー 設立者

著書: 'Aromatherapy Exactly' Ed R Jolois (1990)

Editor of the encyclopedia, 'The Science of Aromatherapy'

Author of the encyclopedia, (to appear in part in 2014): 'At the forefront of Aromatherapy' (Edition Guy Tredaniel)

FLMNE (Free Faculty of Natural Medicine and Ethnoveterinary Studies ) 生薬学の指導者であり会長でもある

ブサンソンの FHMP (the Faculty of Herbal Medicine and Pharmaceutical studies) の前校長

科学委員会の指導者であり国際慈善団体 International Solidarity Association の「裸足の医師団」の副会長でもある

ヒューマニタリアンアソシエーション「Aromatherapy without frontiers」の会長も務めている。

### Jane Johnson ジェーン ジョンソン

ジェーン ジョンソンは物理理学療法士として情熱的に健康管理者やフィットネスプロフェッショナルたちに一般的な(症状の)評価とそれに対するトリートメント方法を援助してきました。元はマッサージセラピストとして活動してられたジェーンは現在までに 6 冊の本を出版されています。その本のタイトルは: セラピストのための首と胸骨エリアに関するコツと技、セラピストのための姿勢

アセスメント、療法的ストレッチ、セラピストの為のソフトティッシュリリースとディープティッシューマッサージ実践ガイド

### **Roger Kelly ロジャー ケリー**

ロジャーは2008年よりルートン市のキーチホスピスケアにて補完医療専門セラピストのコーディネーターをしています。キーチホスピスケアは、生命が制限されている状況におかれている成人や子供の患者達をサポートしています。彼は、臨床医療の介在とともに健康管理においてホリスティックなアプローチを重要視したアロマセラピーに情熱を捧げています。ロジャーは常に患者たちやそのケアラーをサポートするために新たな方法を探究しており、精油を用いた数々の新しい方法を紹介しています。彼はまた、生命に限りある患者達が遭遇するいくつかの挑戦について語り、アロマセラピーが援助できる方法を探究しています。ロジャーは、アロマセラピスト、治療を施すマッサージ師、レイキのセラピストでもあります。彼はまたマウントヴァーノン・キャンサー(癌)ネットワークの臨床を率いており、そのネットワーク内で臨床医療を施す同僚たちへ補完療法の使用に関するアドバイスを提供しています。

### **Christine Page クリスティーン ペイジ**

35年に渡り、クリスティーンペイジはヘルスケア、特に女性の健康に関する第一人者として活躍してきました。国際的スピーカーとして、彼女は様々なヒーリング様式や意識のありかたについての橋渡し役になるべく活動しています。

医療分野でのキャリアにおいて、Dr.ペイジは多くの分野のヒーリング、特に小児科、肥満、婦人科学について携わってきました。彼女はイギリスにおける初の統合健康センターのひとつを設立し、非常に成功しているホリスティックの実践を作り出しました。

彼女はメディアスポークスマンでもあり、ロンドンにてラジオショーを5年間共催しています。また、国際的な基調講演者そしてセミナーリーダーであり、心と身体の医療、自己認識、女性のエンパワメントについて医療従事者や一般の人々へ講演しています。

執筆した7冊の本の代表作として『Frontiers of Health』、『The Healing Power of the Sacred Woman』があります。著作の中では、自己啓発、セルフケア、自己研鑽について取り上げています。

### **Stephanie Lord ステファニー ロード**

ステファニー・ロードは小学校の教師としての訓練を60年代に受けた後、特別教育へと移行し、そして自閉症の子供たちのための特別学校の校長を歴任しました。その傍ら、彼女は運動、演劇、ヨガセラピーの資格を取得しました。

1994年、ステファニーはアロマセラピーの勉強をし、そして冷静さと快適さを与える養成アプローチを悟りました。

これは子供たちが求めていたもので、また彼らにとってコミュニケーション、社会性、創造性を伸ばす機会を与えるものであり、

スタッフにとっても彼らが世話をしている人々との密接な関係を築くものでした。

そうして、ステファニーはIFAのためにアロマタッチを作り上げました。

ステファニーは世界の広範囲に渡って活動しており、クウェート、南アフリカそして日本においてアロマタッチの実践を啓発するために時間を割いてきました。

彼女はルーマニアにおいて認知症の高齢者を含む、子供と成人両方の施設にて7年間働いてきました。

また、イギリスのケアホームにおいて行われているCARISプログラムへアロマタッチを導入し発展させています。

彼女は広範囲に渡り自閉症とアロマタッチについて執筆しており、これまでその教育分野に関わる2冊の本を出版しています。

### Chizu Kumagaya 熊谷 千津

公益社団法人 日本アロマ環境協会(AEAJ)常任理事、博士(農学)、薬剤師、

IFA 認定アロマセラピスト、AEAJ 認定アロマセラピーアドバイザー、

製薬会社勤務の後、英国の Tisserand Institute に留学、1995年にIFA(当時RQA)認定アロマセラピストとなる。帰国後は、緩和ケア病棟にてアロマセラピーの実践に2014年まで携わったほか、ユズ、カモミール、ローズ等さまざまな精油や、キャリアオイルの研究を続けている。また、アロマセラピーに関わる研究データの発信も精力的に行っている。AEAJ ホームページ内「アロマ研究室」を連載中。

### Tsukasa Sakurada 櫻田 司

第一薬科大学 育薬研究センター 教授

北海道生まれ。昭和48年 東北薬科大学卒業後、 スウェーデン・ウプサラ大学生物医学研究所(客員研究員)にて務める。昭和57年東北薬科大学薬理学教室 講師となり

平成10年 第一薬科大学 教授、平成26年第一薬科大学 薬学部長 を経て

平成26年 第一薬科大学 育薬研究センター 教授として現在に至る。

主な著書:「機能形態学」編集(南江堂)改訂第3版(2013年2月)

「コンパス薬理学」編集(南江堂)改訂第3版(2011年5月)

専門領域: 疼痛および鎮痛に関する神経薬理学

学会会員: 日本薬理学会(評議委員)

日本緩和医療薬学会(評議委員)

鎮痛薬・オピオイド研究会(世話人)

日本薬学会

日本疼痛学会

International Association for the Study of Pain (IASP; 国際疼痛学会)

学会誌: European Journal of Pharmaceutical Sciences の編集委員(1998 - 2001)

International Scholarly Research Network (ISRN) Pain の編集委員(2012 - )

World Journal of Anesthesiology の編集委員(2013 - 2015)

特許: 1)「NK-1 受容体アンタゴニスト」(平成8年特許願第290622号)

2)「呼吸器系疾患の予防または改善薬」(平成10年特許願第103755号)

その他: スウェーデン・ウプサラ大学薬学部の学位論文審査(2003年12月、2004年4月、2009年12月、計3回)

学術雑誌掲載論文数: 200報以上

単行本著書: 共著を含め20冊以上

プロモーションの機会

## プロモーションの機会



### トレード・スタンド(会場ブース店)

どのような方が出席されますか？

- アロマセラピスト
- 他の補完医療分野のセラピストの方々
- 学生
- 講師
- 学校の経営者
- スパ経営者
- 講演者—各分野でのスペシャリストであり、その多くの方たちは国際的に認識された方々を選んでおります。
- 業界紙の方々
- 補完医療に興味をもたれている方々

### IFA カンファレンスに参加すべき5つの理由

- 私どもの専門家の会員やそのゲストの方々との重要なネットワーク作りをする主要な機会
- 貴社の製品をニッチな市場に紹介する主要な機会
- 商品売り込み、新たな顧客を獲得する主要な機会
- 将来に向けての思考する専門家たちに影響力を与える主要な機会
- 貴社の影響力を貴社が必要とするクライアントたちへの与えることができる主要な機会

当日は、各組織の代表者の方々がトレード・スタンドを訪れる機会があります

### **グディバック(無料サンプルお土産バック)の提供**

カンファレンス当日、私どもはすべての参加者の皆様に‘お土産バック’を用意致します。これは、健康・美容関連の会社が、自社の商品を促進する理想的な機会となります。過去には次のブランドがお土産バックに貢献して下さいました。私どもの会員はこれらの会社に対して常に忠誠心をもっており、ご参加下さった会社の一例としては、ニールズヤード、アロマセラピーアソシエーション、ミシェリンアーシェーなどです。もし私どもの‘お土産バック’に興味をお持ち頂けましたら、ご提供下さるサンプル品の写真とともに、[japan@ifaroma.org](mailto:japan@ifaroma.org)までご連絡下さいませ。また勝手ながら、バックに詰めますサンプル品は最低 10ml、500 個のサンプルをご提供下さいますようよろしくお願い致します。

トレードスタンドの参加申請書のダウンロードはこちら。[Trade Stand Booking Form](#)

#### 会場へのアクセス

JR 総武線 浅草橋駅「西口」より徒歩 1 分

都営浅草線 浅草橋駅「A3 出口」より徒歩 2 分

JR 秋葉原駅より徒歩 10 分